

ぱぴるす

図書館文化セミナーが開催されました！

3月8日と3月20日に図書館文化セミナーが開催され、両日ともたくさんの方にご参加いただきました。

3月8日には『元気アップ～絵本でココロのサプリメント～』と題し、絵本セラピストの塩谷隆治さんを講師に迎えて、「絵本セラピー」体験が行われました。

当日は塩谷さんが初めに絵本の読み聞かせを行った後、参加された方々に問いかけをし、その考えをグループに分かれて発表し合う、という形式で行われました。

参加者の皆さんは笑顔の絶えない様子で、絵本や会話を通じて気持ちを楽しめるヒントを得るなどして、絵本の魅力を再認識されていたようでした。

3月20日は有限会社一耕社代表取締役の新沼友啓氏を講師に迎え、『よみがえる苫小牧の昭和～図書館資料整理から』と題し、講演が行われました。

会場には40人以上が集まり、昭和30年代の写真と地図を見ながら当時の街並みをたどったり、港のフィルムが上映されたりしました。

参加者からは、当時を懐かしむ声が聞かれ、大変盛況のうちに終わりました。

今年度も、文化セミナーを開催する予定ですので、ぜひご参加ください。



読書感想文集が発行されました

読書感想文集2012が発行されました。

この文集には苫小牧市内の小中学生を対象に開催している、読書感想文コンクール（夏休み・冬休み開催）と読書感想画コンクール（夏休み開催）の上位入賞作品が掲載しており、中央図書館・各図書コーナー・移動図書館車で閲覧し、借りることができます。また、市内の小中学校や児童センターなどにも配付されております。

なお、過去の読書感想文集も閲覧し、借りることができますので、読書感想文・読書感想画を書く時の参考にしてみたいかがでしょうか。



新着図書(一般書)

お役立ち本

『英文履歴書の書き方』有元 美津世/著 ジャパンタイムズ
『LLC(合同会社)の設立・運営ができる本』五十嵐 博一/著 日本実業出版社
『化学版これを英語で言えますか?』齋藤 勝裕/著 講談社
『必ず知っておきたい!若い教師のための職員室ルール』学陽書房
『Q&A外国人・留学生支援「よろず相談」ハンドブック』セルバ出版
『最新ビジネスステューデリがよ〜くわかる本』菅原 祥公/著 秀和システム
『シェアハウスで暮らす』シェアパーク/監修 誠文堂新光社
『失敗しない単身赴任マニュアル100』大庭 夏男/著 PHP研究所
『実践!BCP運用マニュアル』中村 茂弘/著 日刊工業新聞社
『転職書類』細田 咲江/著 すばる舎
『板書きれいで読みやすい字を書くコツ』樋口 咲子/著 ナツメ社
『見えにくい子どもへのサポートQ&A』氏間 和仁/編著 読書工房
『やむなく副業を始める人が読む本』関 行宏/著 明日香出版社
『労働災害・通勤災害のことならこの1冊』河野 順一/著 自由国民社
『「65歳雇用延長制度」のしくみと手続き』林 智之/監修 三修社

海外文学

『キャサリン・カーの終わりのなき旅』トマス・H.クック/著 早川書房
『クラウド・アトラス』上下巻 デヴィッド・ミッチェル/著 河出書房新社
『空気の名前』アルベルト・ルイス=サンチェス/著 白水社
『ケーブルコードの悲劇』P.A.テイラー/著 論創社
『透明な人参』莫言/著 朝日出版社
『夏の嘘』ベルンハルト・シュリンク/著 新潮社
『ほかの惑星への気楽な旅』テッド・ムーニイ/著 河出書房新社

日本文学

『赤と白』櫛木 理宇/著 集英社
『甘い罠』鍋木 蓮/著 東洋経済新報社
『いちばん長い夜に』乃南 アサ/著 新潮社
『奥の奥の森の奥に、いる。』山田 悠介/著 幻冬舎
『神隠し』長野 慶太/著 日本経済新聞出版社
『ガソリン生活』伊坂 幸太郎/著 朝日新聞出版
『こちら弁天通りラッキーロード商店街』五十嵐 貴久/著 光文社
『孤独な放火魔』夏樹 静子/著 文藝春秋
『隅っこの四季』出久根 達郎/著 岩波書店
『正義のセ』1巻 阿川 佐和子/著 角川書店
『慟哭の家』江上 剛/著 ポプラ社
『三日間の相棒』永瀬 隼介/著 永瀬 隼介/著
『夢を売る男』百田 尚樹/著 太田出版
『烈風のレクイエム』熊谷 達也/著 新潮社
『ローカル線で行こう!』真保 裕一/著 講談社

歴史・時代小説

『一路』上下巻 浅田 次郎/著 中央公論新社
『糸車』宇江佐 真理/著 集英社
『おもかげ橋』葉室 麟/著 幻冬舎
『菅原道真見果てぬ夢』三田 誠広/著 河出書房新社
『破邪の剣』鳥羽 亮/著 徳間書店
『へこたれない人』佐藤 雅美/著 講談社
『闇医者おゑん秘録帖』あさの あつこ/著 中央公論新社



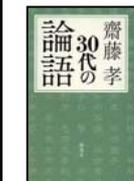
『たのしくできる
スマホでかわいい写真』
週刊アスキー編集部/編集
アスキー・メディアワークス
手軽に撮影できる
スマホのカメラ。
ごはんをおいしそうに猫
を可愛らしくなど希望ごとの
撮り方が解説されています。



『ちびモン』
クリステン・ハテン/著
飛鳥新社
人気のあるあ
みぐるみジャン
ルに、モンス
ター現る。ゾンビにガイコツ、
ヴァンパイア。それでもかわ
いくできあがってしまうのが、
あみぐるみの力なのかも?



『世界の城』
バインター・ジョンソン
15cm四方の
小さな書面
に広がる城や宮殿の写真集で
す。手軽に読めるサイズであ
りながら、建物の荘厳さや美
しさが伝わってくる一冊です。



『30代の論語』
齋藤 孝/著
海竜社
『論語』から、
人生の転換期を
迎える30代への言葉を紹介。
同シリーズとして『60代の論
語』も出版されています。

本の情報・話題の本

図書館に住む本の話

今回のテーマ：包装とラッピング

転居や旅行先で出会う限定商品。お祝いやお礼のためのラッピング。どちらも目を惹くデザインであれば、楽しいものですよね。『スーパーマーケットでかわいい買い物』(675.1 Ⅱ)は、ウズラの卵(30個入り)を箱詰めした珍しいものから、遠足の定番お菓子サイコロキャラメル等を掲載しています。また日常の贈り物…例えばみかん1個のおすそわけ…にも使えるちょっとしたラッピングは『楽しいちいさな贈りもの』(385.9 Ⅱ)が参考になります。内容も勿論大事ですが、開封前にこの本のように一度外装を眺めて見てはどうでしょう。



予約本ランキング



「64」

横山秀夫 (91)

- | | | |
|---|-------------|------------|
| 2 | 「虚像の道化師」 | 東野圭吾 (89) |
| 3 | 「ソロモンの偽証」 | 宮部みゆき (88) |
| 4 | 「禁断の魔術」 | 東野圭吾 (81) |
| 5 | 「ナミヤ雑貨店の奇蹟」 | 東野圭吾 (74) |

- | | | |
|---|------------|------------|
| * | 「母性」 | 湊かなえ (73) |
| * | 「空飛ぶ広報室」 | 有川浩 (68) |
| * | 「聞く力」 | 阿川佐和子 (64) |
| * | 「舟を編む」 | 三浦しをん (50) |
| * | 「白ゆき姫殺人事件」 | 湊かなえ (49) |

3月21日現在

寄贈していただきました

沖医院

『愛着障害』
他一般書 203冊 児童書25冊
郷土・参考資料 16冊

苫小牧民報社

『新聞記者の流儀』
他一般書 52冊 参考書1冊



イトアツ

『ひなちゃんの食育』
他児童書32冊

ライオネスクラブ

『物流の大研究』
他児童書17冊



図書館員の読書日記

今回は「M」の日記です

私たちが住む北海道。この北海道出身である方々の華々しい活躍には目を見張るものがあります。

先日逝去してしまいましたが、1960年代に大活躍し、当時の子供が大好きなものとして「巨人、大鵬、玉子焼き」とまで言われた第48代横綱大鵬こと納谷幸喜さん(弟子屈町出身)、少し前ではプロボクサーの内藤大輔さん(豊浦町出身)、最近ではスキージャンプ選手の高梨沙羅さん(上川町出身)やソチ五輪出場権獲得一番乗りのアイスホッケー女子選手の方々など、たくさんの方々があります。

そんな中、皆さんは登山家 栗城史多さん(今金町出身)をご存知でしょうか。

7大陸最高峰のうち6大陸を登った方で、8000メートル級の山を単独・無酸素で登頂し、その状況をインターネットライブ中継されている方です。

先日、地方で講演が開催されたので家族で行って来ました。昨年10月のエベレスト登頂時の凍傷により両手指を患いながらも、笑いあり、感動ありの素晴らしい内容でした。

その栗城さん、高校卒業後、都会にあこがれ上京したがすぐに挫折。1年間のフリーター・ニート生活の後、北海道へ戻り大学に進学し山岳部へ入部。入部のきっかけは何と「失恋」だったそうです。

約1時間半の講演終了後、「さすがにこの手では握手はできませんが、サインはします」とのこと……。

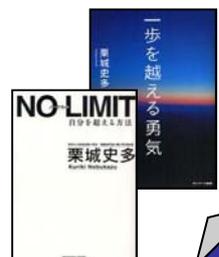
長蛇の列に並び待つこと約1時間。一人ひとりに患った手でサインし、握手もしてくれました。(ここでも感動)

私も今年こそは、栗城さんに少しでも近づけるよう、山登りを始めようと思います。まずは「樽前山」から……。

皆さんも一度、栗城さんの本をご一読され、講演会に行ってみてはいかがでしょうか。きっと何かを得ることができると思います。

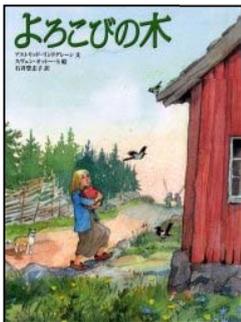
ちなみに講演会ですが、5月に北海道某市でまた開催するとのことでした。

〈栗城史多さん著作〉
「一步を超える勇氣」
カクマク出版(786.1/Ⅰ)
「NO LIMIT」
カクチャリ出版(786.1/Ⅱ)

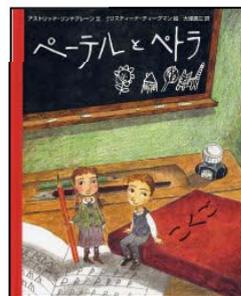




こどもの本の ページ



「よろこびの木」
 アストリッド・
 リンドグレン/文、
 スベン・オッター・S/絵
 徳間書店 Eヨ



「ペーテルとペトラ」
 アストリッド・
 リンドグレン/文、
 クリスティーナ・
 ディーグマン/絵
 岩波書店 Eハ

**今月のイチオシ作家
アストリッド・
リンドグレンさん**

1907～2002年。スウェーデン生まれ。1944年から創作をはじめ、児童書の編集者として働きながら、数多くの作品を書いた。「長くつ下のピッピ」「やかまし村」「名探偵カッレくん」のシリーズなど、世界中で愛される数々の作品を生み出し、「子どもの本の女王」とよばれた。

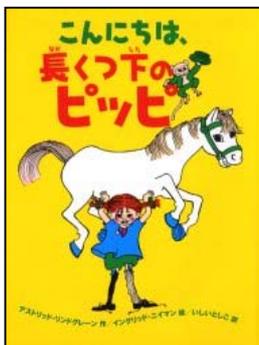
(『ぼくもおにいちゃんに
なりたくない』奥付より)



「ふしぎなお人形ミラベル」
 アストリッド・
 リンドグレン/作
 ピア・リンデンバウム/絵
 偕成社 Eフ



**「わたしもがっこうに
いきたくない」**
 アストリッド・
 リンドグレン/文
 イロン・ヴィークランド/絵
 徳間書店 Eワ



ピッピ
シリーズは
中央図書館では
Eナのところ
にあります



**「こんにちは、
長くつ下のピッピ」**
 アストリッド・リンドグレン/作
 イングリッド・ニイマン/絵
 徳間書店 Eコ

**「ピッピ、公園で
わるものたいじ」**
 アストリッド・リンドグレン/作
 イングリッド・ニイマン/絵
 徳間書店 Eヒ



**「ぼくもおにいちゃんに
なりたくない」**
 アストリッド・リンドグレン/文
 イロン・ヴィークランド/絵
 徳間書店 Eホ



あたらしい本 ~2・3月にとどいた本からピックアップ♪~



「世界の神話大図鑑」 16セ

佐藤 俊之/監修
PHP研究所

英雄(えいゆう)アキレウスの弱点はからだのどこ? 神は何から人間をつくった? 不思議なことばかりの神話の世界をのぞいてみよう。ギリシア神話、北欧神話、メソポタミア神話、インド神話、日本神話など、世界で語り継(つ)がれてきた神話をイラストとともに紹介する。



「だって…」 Eタ

石津 ちひろ/作, 下谷 二助/絵
国土社

「どうしてごはんのおかわりをしないの?」「だって…」 「どうしておふろがきれいな?」「だって…」 親子で一緒に楽しめる、おかしなおかしなナンセンス絵本。版型を大きくし、絵を新しく描き下ろして刊行。



おしらせ

名作アニメビデオ上映会 午前中になりました!

毎月第2・4日曜日の午後におこなっていた名作アニメビデオ上映会が、4月から午前10時30分からになりました。バーバパパやころわん、にじいろのさかななどの、みんなが大好きなシリーズのほか、楽しいビデオがたくさんです。ぜひみにきてください!!

みんなおいで~!!

5月5日 おはなし広場

5月5日はこどもの日。図書館でも大型絵本のよみきかせや、ほかにもたくさん楽しいプログラムを用意してみなさんを待っています!!

5月5日(日)
10時30分~
中央図書館
2階 講堂(こうどう)



よみきかせ会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

○舌小牧子どもの本の会○
(第1・第3日曜日)
4月7日・4月21日
5月5日・5月19日
午後3時~3時30分

○にじのはし○
(第2土曜日)
4月13日・5月11日
午後11時~11時30分
(第4土曜日)
4月27日・5月25日
午前11時~11時30分
午後2時~2時30分

ストーリーテリング おはなし会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

○おはなしオルゴール○
(第3土曜日)
4月20日・5月18日
午後2時~2時30分

かみしばい
紙芝居

会場 サンガーデン
定員 40名

○かみしばいおじさん○
(第2土曜日)
4月13日・5月11日
午後2時~2時30分

ていきてき ぎょうじ 定期的な行事の おしらせ

めいさく じょうえいかい
名作アニメビデオ上映会

会場 2階講堂
定員 70名

バーバパパ、ころわんシリーズなどのビデオを上映します。

(第2・第4日曜日)
4月14日・4月28日
5月12日・5月26日
午前10時30分~11時

上映時間がかかりました!

郷土・参考資料室からのお知らせ

レファレンス事例集—こんな質問ありました—

第24回 「大和撫子」

Q. 大和撫子はなぜナデシコなの？

日本女性を指す言葉として使われる「大和撫子」ですが、なぜナデシコの花がたとえられているのでしょうか？

「撫子」を調べてみる

一般的に撫子と呼ばれている花は、正式名をカワラナデシコといい、古くから親しまれてきました。『日本大百科全書17』によると、「かつてカワラナデシコは、中国原産のセキチクがカラナデシコ(唐撫子)とよばれたのに対し、ヤマトナデシコ(大和撫子)とよばれた」とあります。昔はナデシコの花そのものを「大和撫子」と呼んでいたのです。

「大和撫子」の語源

「大和撫子」は、「ヤマト+ナデシコ」が語源となっています。ナデシコの語源も見てみますと、撫子はその花が小さく、色や形が愛らしいことから、「撫で愛する、なでつくしむ、その花(子)」という意味で、「ナデ(撫・愛)+シ(助辞)+コ(子)」が語源だ、という説が有力です。(『語源辞典 植物編』より)さらにナデシコは、その「撫でつくしむ花」のイメージから、日本女性の清楚な美しさの喩えに使われてきました。日本最古の和歌集である万葉集では、ナデシコを美の対象とし、愛しい女性のおもかげを重ねて歌を詠んでいます。その喩えが転じて、「やさしく美しい日本女性のこと」を、「大和撫子」というようになったようです。

女性を花に見立てる言葉は、「いすれ菖蒲か杜若(優劣のつけがたい美人の様)や、「立てば芍薬座れば牡丹、歩く姿は百合の花」(どこから見ても美しい女性を例えたもの)など、いくつかあります。しかし、ナデシコのように可憐な花を用いた喩えは今回の調査では見受けられませんでした。類語ができないほど「大和撫子」という花が、日本女性のイメージと合致していたのではないかと感じました。(司書：工藤)

今回使用した資料

「日本大百科全書17」(O31/ニ/17) 小学館/刊
「野草大図鑑」(470.3/ヤ) 北隆館/刊
「語源辞典 植物編」(812.0/リ) 東京堂出版/刊
「日本語源広辞典」(812.0/コ) ミネルヴァ書房/刊
「動植物ことば辞典」(813.1/ト 一般書) 東京堂出版/刊

新着図書を紹介

今回は郷土資料の紹介です
『行ってみよう！道央の地形と地質』

(H454.9/1) 北海道新聞社・刊



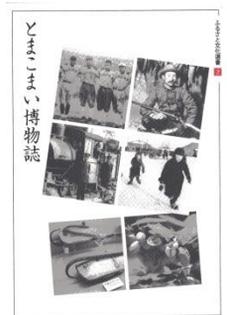
道央の地形・地質をコンパクトにまとめて紹介した本。樽前山や苫小牧も掲載されており、火砕流堆積物を観察できる露頭があることなど、意外と知られていない事実が書いてあり、興味深い。

『とまこまい博物誌』

(HT211.7/ト) ふるさと文化セミナー・刊



平成元年5月から同6年4月まで、広報とまこまいに連載されていたものを編集・発行。明治から昭和にかけての苫小牧を様々なテーマで綴る全60話。どのタイトルも苫小牧の歴史を垣間見ることができ、面白い。当時の貴重な写真も多く掲載されているところも、見どころの一つ。



これらの本は2階参考資料室で見ることができます。

参考図書室・郷土資料室のご利用に際して



- ★かばん等の持ち込みはできません。手荷物をロッカーにお預けの上、筆記用具のみをお持ちになってお入りください。
- ★資料室には自習のための席はありません。自習する方は、2階電子情報サロン隣の『自習室』をご利用願います。

平成24年度の郷土資料室の資料整理から

当館では平成21年（2009）から今年度、平成24年（2012）まで4年間に渡って国の緊急雇用創出推進事業を受けて、郷土資料の整理及びデジタル化を推進してきました。

具体的には下記表のとおりです。（デジタル・フォーマットの形式はJPEGとPDF）

1年目は苫小牧市広報原紙及び、苫小牧民報のマイクロフィルムのデジタル化。

2年から3年目は王子製紙苫小牧工場操業百周年事業と並行して、図書館に寄贈される王子製紙苫小牧工場の歴史的価値のある資料を中心に、紙媒体の劣化・破損、古い媒体により駆動・再生装置がなくなる恐れがあるものを確認し、整理及びデジタル化。

4年目に当たる24年度は選別された寄贈王子資料と併せて、図書館に保存されている膨大な郷土資料をデジタル化し、市民及び一般利用者に対しての閲覧を可能としました。特に、iPadに代表されるタブレット型端末での閲覧を視野に入れ、電子書籍として活用されることを前提に工夫を凝らしました。

平成25年度は4年間の緊急雇用創出推進事業の成果を公開していく予定です。

緊急雇用創出推進事業の沿革

	開始～ 終了（期間）	事業主体	雇用者
1	2009（H21）10/1～2010/3/30（6ヶ月）	マイクロフィルムのデジタル化	12人
2	2010（H22）/7/1～2010/12/28（6ヶ月）	マイクロフィルムのデジタル化 ／王子製紙苫小牧工場資料	12人
3	2011（H23）/5/1～2012/3/29（11ヶ月）	王子製紙苫小牧工場資料	12人
4	2012（H24）/6/1～2013/3/28（10ヶ月）	王子製紙苫小牧工場寄贈資料 ／図書館既存郷土資料	12人

特に、平成24年度の成果は以下のとおりです。（数字は頁以外は概数）

●王子製紙苫小牧工場寄贈資料の整理・デジタル化

文献、書類、図面	2,200 点	写真	1,500 点
アルバム	270 冊	8mm、16mmフィルム	40 本

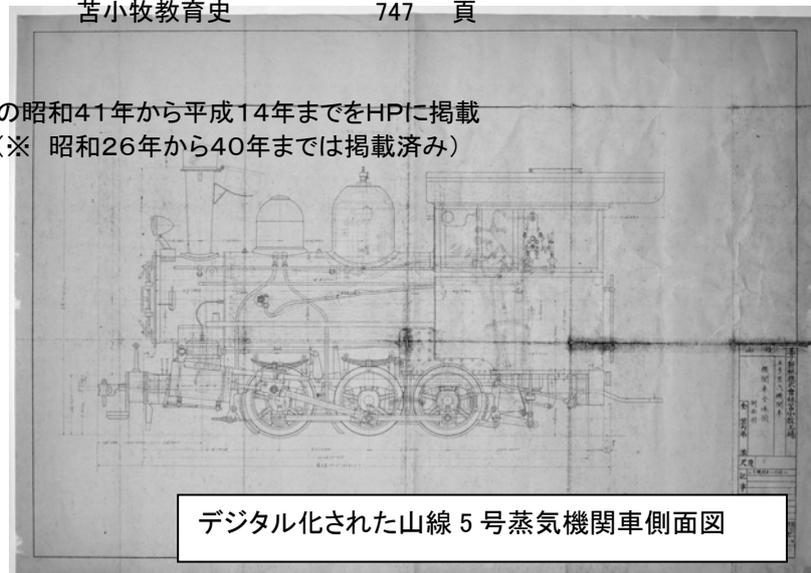
●図書館既存郷土資料の整理・デジタル化

マップケース	3,200 点	折居彪二郎書簡等	393 点
浅野晃書簡	145 点		

●苫小牧市史等、刊行済み郷土資料のデジタル化

苫小牧市史（上）	1,920 頁	苫小牧市史（下）	1,996 頁
苫小牧市史（資料編1）	1,458 頁	苫小牧市史（資料編2）	225 頁
苫小牧市史（追補）	1,730 頁	苫小牧のあゆみ	402 頁
目で見る苫小牧の百年	260 頁	苫小牧町史	488 頁
苫小牧市年表	212 頁	苫小牧教育史	747 頁
続苫小牧市年表	210 頁		

●市政だより・広報 37年間分のうち残22年間の昭和41年から平成14年までをHPに掲載
（※ 昭和26年から40年までは掲載済み）

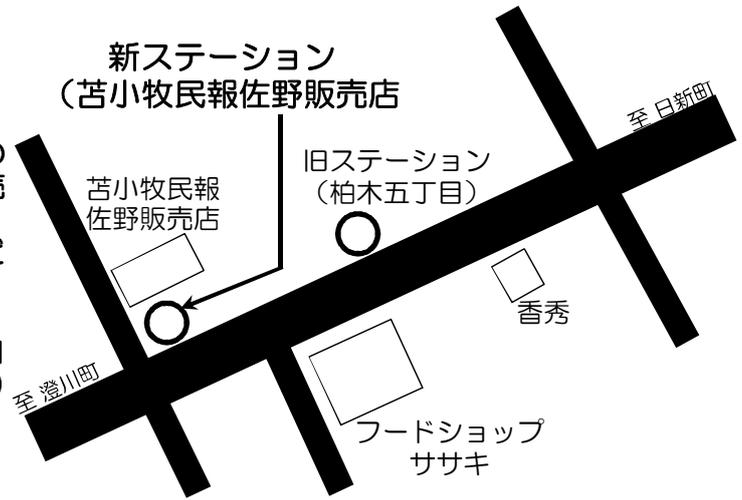


デジタル化された山線5号蒸気機関車側面図

移動図書館

ステーションの変更について

2013年より「柏木5丁目バス停前」のステーション名を、「苫小牧民報佐野販売店前」に変更いたします。
 場所は旧ステーションから西に80mほど移動したところになります。
 (右の地図をご参照ください)
 巡回日は変わらず、毎月第1・第3水曜日
 13時40分から14時20分までとなります。
 ぜひご利用ください。



イベントのお知らせ おはなし広場

日時 5月5日(日) 10時30分~11時30分
 会場 中央図書館 2階講堂
 対象 幼児・小学生の方
 定員 100名 参加費無料
 直接会場にお越しください。
 詳細については5ページの記事をご覧ください

寄付・寄贈ありがとうございました。(平成24年1月21日~平成25年3月20日)
 個人 112件 1450冊 団体 65件 91冊

今後の予定	閲覧室入口
	4月 1日~4月25日 司書さんのおすすめ 読み聞かせ絵本
	4月27日~5月30日 サッカー (Jリーグ20周年)
	児童コーナー
	4月27日~5月30日 王様の本
	一般書コーナー (検索機横)
4月 1日~4月25日 金田一春彦生誕100年	
4月27日~5月30日 春色*ファブリック	
エントランス	
~4月25日 苫小牧港開港50周年	

※ 休館日の展示の公開はありません。
 ※ 行事・催し・展示については、変更・中止になる場合がございます。

中央図書館カレンダー

※黒塗り白字になっている日は休館日です
 丸印がついている日は午前9時30分~午後5時開館
 印が付いていない日は午前9時30分~午後7時開館

2013年4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	⑥
⑦	8	9	10	11	12	⑬
⑭	15	16	17	18	19	⑳
㉑	22	23	24	25	26	㉗
㉘	㉙	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	④
⑤	⑥	7	8	9	10	⑪
⑫	13	14	15	16	17	⑱
⑲	20	21	22	23	24	㉕
㉖	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	3	4	5	6	7	⑧
⑨	10	11	12	13	14	⑮
⑯	17	18	19	20	21	㉒
㉓	24	25	26	27	28	㉙
㉚						